

WEEKLY SIGNAL

平成30年11月22日(木) 1451号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	11/26(月)	11/27(火)	11/28(水)	11/29(木)	11/30(金)
無担保O/N			△0.086% ~ 0.001%		
銀行券	△ 200	ト ン	△ 1,000	△ 1,000	△ 1,000
財政他	△ 8,800	+ 3,000	△ 4,000	+ 2,000	+ 9,000
資金需給	△ 9,000	+ 3,000	△ 5,000	+ 1,000	+ 8,000
主要要因	国庫短期証券 発行・償還(3M)		国債発行(40年)		
オペ期日	共通担保(全) △ 2,200 CP等買入 △ 100 社債等買入 △ 100				
オペスタート	共通担保(全) + 2,600 ETF買入 + 1,200		社債等買入 + 800		
(日本)		企業向けサービス価格指数(10月)		政井日銀審議委員の会見 対外・対内証券投資(11月18日-11月24日)	完全失業率(10月) 有効求人倍率(10月) 消費者物価指数(東京都区部、11月)
(海外)	独 IFO企業景況感指数(11月)	米 クラリクFRB副議長の講演 米 カンザスシティ、アトランタ、シカゴ 各連銀総裁がパネル討論会 米 FHFA住宅価格指数(9月) 米 消費者信頼感指数(11月)	米 バウエルFRB議長の講演 米 GDP(3Q,改定値) 米 新築住宅販売件数(10月) ユーロ圏 マネーサプライ(10月)	米 FOMC議事要旨(11月7-8日開催分) 米 シカゴ連銀総裁がパネル討論会に出席 米 個人所得・支出(10月) 米 新規失業保険申請件数 (11月24日終了週)	米 NY連銀総裁の講演 ユーロ圏 失業率(10月) ユーロ圏 消費者物価指数(11月、速報) G20サミット(ブエノスアイレス)

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.035 ~ 0.050
SPOT 2M	△0.020 ~ 0.060
SPOT 3M	△0.010 ~ 0.070
SPOT 6M	△0.010 ~ 0.100

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、391兆4,600億円から始まり、20日には、国債買入を主因に392兆400億円まで増加した。その後は財政等要因による減少もあり、週末は391兆2,200億円となった。
無担保コールON物加重平均金利は、週初△0.068%から始まり、その後は△0.071%~△0.066%のレンジで推移した。ターム物は1~2W物を中心に△0.05%~△0.035%での出合がみられた。
22日に発表された10月の全国消費者物価指数(生鮮食品を除いたコアCPI)の伸び率は、前月と横ばいの前年同月比+1.0%となった。
来週は国内では政井日銀審議委員の会見(29日)、都区部消費者物価指数(11月)(30日)、海外ではバウエルFRB議長の講演(28日)、FOMC議事録(11/7~11/8開催分)(29日)などが予定されている。

【オープン市場】

CP3M(a-1+)	△0.010 ~ 0.000
TDB 3M	△0.35 ~ △0.25
現先(on/1w)	△0.050 ~ 0.000

<C P>

今週の入札発行総額は約5,200億円で、週間償還額(約3,500億円)から増加した。発行市場は5・10日発行と電力・ガス・石油等複数の業態からの大型発行案件が重なり、やや活況となった。週末の発行市場残高は、2カ月ぶりに19兆円台を上回り19兆1千億円弱となった(11/16残高:18兆7,157億円)。発行レートは、引き続きディーラーの購入ニーズが強く、マイナスから0%近辺のレンジであった。
来週の償還総額は約1兆2,500億円(月末償還額:約9,500億円)で、月末日スタートや新規ベースでの発行が予想される為、活況が見込まれる。発行レートは、投資家、ディーラーの購入ニーズ強く、引き続きマイナス~0%近辺での出合いが中心と思われる。27日には、CP等買入オペが2,000億円程度オファーされる予定。

<TDR>

19日付の11月7日回債は、最高落札レート△0.1647%(前回債△0.1551%)、平均落札レート△0.1687%(同△0.1681%)と前回から利回りがやや低下。一方、22日入札の3M798回債は、最高落札レート△0.2530%(前回債△0.2847%)、平均落札レート△0.2687%(同△0.2984%)と前回から利回りが上昇した。
週末のセカンダリー市場は、新発3M物が比較的堅調な地合となり△0.029%程度と入札水準より強い出合。一方、新発1Yは積極的に買われる動きはなく、△0.17%程度と入札水準での出合となった。
来週は30日に3Mの入札が予定されている。

<レポ>

銘柄先決めGC取引は週初△0.16%近辺から始まり、週央にかけて△0.16%~△0.175%で推移した。短国3Mの発行日となる26日受渡しは、前場△0.16%~△0.17%から出合いが付き始め、後場△0.12%台まで上昇した。
SC取引では、10年351回債が△0.10%台後半~△0.20%近辺の出合い。10年352回債は、週を通して概ね△0.10%台後半で取引された。その他2年391・392・393回債、5年135・136回債、10年340・341・342・344・345・346・347・349・350回債、20年163・164・165回債、30年58・59回債、40年11回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。